

一般社団法人日本老年歯科医学会 2018年度第9回理事会議事録

日 時：2018年12月7日（金）15：00～17：35

場 所：日本歯科大学生命歯学部 2階 第1会議室

出 席：佐藤裕二 理事長

羽村 章、那須郁夫 両副理事長

上田貴之、櫻井 薫、下山和弘、水口俊介、松尾浩一郎、渡邊 裕、服部佳功、戸原 玄、小野高裕、河相安彦、片倉 朗、眞木吉信、石黒幸枝、大野友久、柏崎晴彦、高橋一也、岩佐康行、平野浩彦、米山武義、阪口英夫、山崎 裕、植田耕一郎 各理事

森戸光彦、山根源之 各監事

陪 席：北川 昇、和田 健、中川量晴、小原由紀、佐川敬一朗、大井 孝、堀 一浩、伊藤誠康、潮田高志、大神浩一郎、水谷慎介、川本章代、梅本丈二、森田一彦、遠藤眞美、田村暢章、阿部仁子 各幹事

欠 席：小笠原正、菊谷 武、菅 武雄、竹島 浩、弘中祥司 各理事

金澤 学、宮原康太、赤松那保、尾崎研一郎、石川健太郎、岡田和隆 各幹事

I. 開会の辞

羽村副理事長より、開会の辞が述べられた。

II. 理事長挨拶

佐藤理事長より、参集の御礼が述べられた

IV. 議長選出

定款第32条に則り、佐藤理事長が選出された。

V. 確認事項

1. 定足数の確認

上田理事(総務担当)より25名の出席がある旨報告があり、定足数〔定款第33条、理事現在数(30名)の2分の1以上の出席〕を満たしている事が確認された。

2. 配付資料の確認

上田理事より配布資料の確認がなされた。

3. 2018年度第3回理事会議事録

上田理事より資料を元に説明があり、確認された。

4. 2018年度第4回理事会議事録

上田理事より資料を元に説明があり、確認された。

5. 2018年度第5回理事会議事録

上田理事より資料を元に説明があり、確認された。

6. 2018年度第6回理事会議事録

上田理事より資料を元に説明があり、確認された。

7. 2018年度第7回理事会議事録

上田理事より資料を元に説明があり、確認された。

8. 2018年度第8回理事会議事録

上田理事より資料を元に説明があり、確認された。

VI. 協議事項

1. 新規入会者の承認について

佐藤理事長より資料を元に説明があり、案の通り新規入会者 126 名の入会が承認された。

2. 2018 年度専門医認定者について

大野理事より資料を元に説明があり、案の通り専門医申請者 9 名の合格が承認された。

3. 認定制度に関わる指導医および研修機関の一本化について

大野理事より資料を元に説明があり、「認定医→専門医→指導医」の一本柱の形に制度規則の条文を整えること、「認定医制度指導医・認定医研修機関」が現行の「専門医制度指導医・専門研修機関」に移行するかたちで、一本柱の「指導医・研修機関」として運用すること、専門医制度指導医への移行を希望する認定医制度指導医に対しては、一定の暫定期間を設けて専門医資格の取得を推進し、認定医制度指導医へ移行させることが提案され、案の通り承認された。今後、必要な規定の整備を行い、2019 年 6 月の理事会で承認を得ることを目標として作業を進めていくことが確認された。

4. 専門医申請要件に関わる研修および業績の見直しについて

大野理事より資料を元に説明があり、案の通り専門医申請要件に関わる研修および業績について見直しを行うことが承認された。今後、必要な規定の整備を行うことが確認された。

5. 日本歯科専門医機構への加盟について

佐藤理事長より資料を元に説明があり、入会の申し込みをする旨が承認された。

6. 代議員定数の改正について

下山理事より資料を元に説明があり、案の通り代議員選出規程に定める代議員定数の改正が承認された。また、定款の変更を 2019 年 6 月の総会に上程することが承認された。佐藤理事長より、定款変更の総会承認後、登記して発効する旨の補足がなされた。

7. 委員会名の簡素化について／委員会規程の一部改正

佐藤理事長より資料を元に説明があり、案の通り承認された。

8. 名誉会員推薦規則の一部改正について

佐藤理事長より資料を元に説明があり、案の通り承認された。

9. 学会設立 30 周年記念大会（第 31 回学術大会）記念式典および記念祝賀会来賓について

佐藤理事長より資料を元に記念式典および記念祝賀会来賓(案)の説明があり、案に対する意見を寄せていただきたい旨の依頼があり、最終決定は理事長に一任することが承認された。

10. 第 32 回学術大会（第 32 回日本老年学会総会併催）大会長の選出について

佐藤理事長より、河相理事が大会長に推挙され、承認された。

11. 口腔機能低下症 歯科医院向けパンフレットについて

水口理事より資料を元にパンフレットの作成状況の報告がなされ、学術委員会で最終的な確認を行い、最終的には広報委員長と学術委員長に一任とすることが承認された。配布先および配布方法については広報委員会および総務に一任となった。戸原理事より、口腔機能低下症の普及のために、整形外科や皮膚科にもパンフレットを配布してはどうかとの提言がなされた。

12. 平成 31 年度厚生労働省委託事業への入札について

上田理事より、平成 31 年度も引き続き厚生労働省委託事業の入札を行う旨が説明され、承認された。

13. 倫理審査委員会の外部委員の就任について

山崎理事より資料を元に、外部委員に人文・社会科学の有職者として小畑 真氏を招聘したい旨提案があり、承認された。また、日当や謝礼等に関しては財務委員会と倫理審査委員会に一任することが承認された。

VII. 報告事項

1. 会務報告

佐藤理事長より、各委員会の活発な活動に対する御礼があった。また、口腔機能低下症に関して様々な場面で広報活動を行っていただきたい旨、各施設でも口腔機能低下症の検査を積極的に行っていただいた旨の依頼があった。

2. 総務報告

上田理事より、資料を元に2017年4月1日から2018年12月1日までの入退会者数の報告がなされた。また、3年間会費未納の会員は強制退会となる旨、会費未納による退会者を減らす必要がある旨が補足された。

3. 学術報告

1) 学術委員会報告

水口理事より資料を元に、日本歯科医学会2040年への歯科イノベーションロードマップを2018年10月に提出した旨、第30回学術大会では「歯科訪問診療」、「口腔機能低下症」のテーマで課題口演を募集する旨、口腔機能低下症の今後のプロモーションとして、「かかりつけ歯科医のための口腔機能低下症入門」（歯科医師向け書籍）および歯科医院向けパンフレット（患者説明用補助資料）を作成している旨、平成30年度厚生労働省委託事業検討委員会が発足した旨と、今後の活動予定が報告された。

2) 第29回学術大会 実施および決算報告に一任

佐藤理事長(大会長)より資料を元に報告がなされた。学術大会の収支出差額の運用については理事長および財務委員会に一任することが確認された。

3) 第30回学術大会 準備状況について

米山理事(大会長)より資料を元に、学術大会の準備状況の報告がなされた。服部理事(実行委員長)より、演題締め切りが例年よりも早いため、早めの演題登録をお願いしたい旨の補足がなされた。

4) 第31回学術大会および30周年記念祝賀会

水口理事(大会長)より学術大会の準備状況の報告がなされた。河相理事(祝賀会準備委員長)より、記念祝賀会の会場の検討を行っている旨、開催日は2020年6月20日(土)となる旨が報告された。

5) 平成29・30年度 日本歯科医学会 プロジェクト研究

佐藤理事長より資料を元に、平成29・30年度日本歯科医学会プロジェクト研究の進捗報告がなされた。

6) 平成30・31年度 日本歯科医学会 プロジェクト研究

戸原理事より資料を元に、平成30・31年度日本歯科医学会プロジェクト研究の進捗報告がなされた。

4. 編集報告

松尾理事より資料を元に報告があり、第29回学術大会演者に対し講演、シンポジウム内容について「老年歯科医学」への寄稿を依頼した旨、現在、掲載承諾済みが2講演・10シンポジウム、寄稿受付済みが2講演・6シンポジウムであり、順次掲載予定である旨が報告された。また、第30回学術大会においても演者に寄稿を依頼する予定である旨が報告された。「老年歯科医学」への原著論文の投稿数が減少傾向にあるため、査読を効率化・迅速化するとともに、建設的な査読を行い、掲載論文数の増加を図る旨が報告された。

5. 財務報告

渡邊理事より資料を元に報告がなされ、本年度は各種委員会活動事業費を例年の使用状況から設定したが、委員会活動が活発で予算を超過する可能性があるため、来年度予算では変更する必要がある旨、本年度の厚生労働省委託事業に関する費用が来年度支払われる関係で、研究調査事業費が予算を超過している旨、管理費の租税公課を加える必要が生じたため、来年度予算では考慮する必要がある旨が補足された。

6. 各種委員会報告（委員会資料参照）

1) 教育問題検討委員会

佐藤理事長より資料を元に、29 歯学部の教育担当者への「大学病院での訪問診療および訪問歯科教育状況調査」の WEB アンケートを実施した旨、歯学部教育基準(2015 年度版)の改訂作業を行っている旨、日本障害者歯科学会作成の臨床実習マニュアル「移乗」に関して、障害者歯科学会理事会にて承認を得た旨、29 歯科大学の障害者歯科教育担当者への報告を行った旨が報告された。

2) 社会保険委員会

佐川幹事より資料を元に、次回の診療報酬改定に向け、口腔機能低下症に関する問題点の抽出および今後の対応について協議を行った旨、歯科と栄養に関して今後の対応を協議し、研修会(シンポジウム)の開催準備を行っていく旨、診療報酬の適正化のための歯保連試案の作成について協議した旨が報告された。平野理事より、歯科医師と栄養士の関係性については、関係団体の動向を十分に確認しながら慎重に対応していく必要がある旨の補足がなされた。

3) ガイドライン委員会

服部理事より資料を元に、新規のガイドライン作成に係る業務として、「認知症患者の歯科診療ガイドライン」、「口腔乾燥症の診療ガイドライン」などの作成を行っている旨、既成のガイドラインの保守に関わる業務として、「摂食・嚥下障害、構音障害に対する舌接触補助床(PAP)の診療ガイドライン」の改訂作業における協力の在り方を日本補綴歯科学会の担当委員会と協議している旨、「摂食・嚥下リハビリテーションにおける診断支援としての舌機能検査法のガイドライン」の改訂の要否を検討している旨が報告された。

4) 在宅歯科医療等検討委員会

佐藤理事長より資料を元に、在宅歯科医療専門医制度の可能性を検討している旨の報告がなされた。

5) 摂食嚥下リハビリテーション委員会

戸原理事より資料を元に、摂食機能療法専門歯科医師の指定研修が 2019 年 6 月 8 日(土)に開催される旨、摂食機能療法専門歯科医師の更新条件にオンライン診療システム(YaDoc ヤードック)を活用した取り組みを試行している旨が報告された。

6) 国際渉外委員会

小野理事より資料を元に報告があり、TAGD（台湾老年歯科医学会）との相互交流促進のため、相互の学術大会参加者の参加登録料免除、研究発表の奨励、学術連携のための課題選出、学術交換プログラムの拡大の 4 項目を試験的に 2 年間行っていく旨が説明され、承認された。

佐藤理事長より、ECG(ヨーロッパ老年歯科医学会)の 2019 年学術大会において、本学会との共同企画を行いたいとの提案がなされている旨の説明があり、承認された。また、口頭発表に対する助成を GC 社に支援を依頼する旨、ポスター発表に対しては本会の国際交流基金から助成したい旨の提案がなされ、常任理事会に一任となった。

7) 広報委員会

河相理事より資料を元に、会員広報を充実させるために、ホームページの充実、アクセス数の把握を行っている旨、SNS の活用について検討している旨、会員向けメールマガジン「日本老年歯科医学会 学術情報」の発行を予定している旨の報告がなされた。

上田理事より、会員向けメーリングリストの運用は既に開始している旨、詳細な情報はホームページ上に掲載し、メーリングリストにはホームページへのリンクを掲載する運用方法としている旨、広報が必要な情報がある場合は、委員長、幹事より事務局を通じて広報委員会にホームページへの掲載を掲載して欲しい旨、支部活動に関する情報も同様にホームページ上に掲載して他支部会員に対しても情報共有して欲しい旨の補足がなされた。

8) 研修委員会

片倉理事より資料を元に、2018年12月16日(日)に第1回、2019年3月24日(日)に第2回高齢者医療研修会が開催される旨、口腔機能低下症の周知を目的として研修委員によるミニレクチャーも同時に行っていく旨の報告がなされた。

9) 学術用語委員会

眞木理事より資料を元に、「老年歯科医学用語辞典」第2版に掲載されていない用語(追加用語)の抽出および執筆者の選定を行った旨、第3版の出版は第2版が出版されてから6年後の2022年3月とする旨、第3版をどのような形態(製本、web、アプリ、USBなど)にするかは継続して審議を行う旨の報告がなされた。また、「歯科方言辞典」および「略語辞典」については、理事会で事業計画や予算計上に関する協議がなされてから改めて審議する旨、第30回学術大会で開催予定の『「口腔ケア」から「口腔健康管理」へ』とのシンポジウムに関して、学術委員会がシンポジストおよび座長の推薦に協力する旨の報告がなされた。

10) 歯科衛生士関連委員会

石黒理事より資料を元に、2018年度認定歯科衛生士認定審査を実施し13名中10名が合格となった旨、第30回学術大会における歯科衛生士シンポジウム、歯科衛生士交流企画および歯科衛生士相談コーナーの開催を準備中である旨、2019年7月15日(祝・月)に口腔機能評価をテーマとした歯科衛生士関連委員会主催セミナーを開催する予定である旨、歯科衛生士教育における老年歯科医学教育の課題については教育問題教育委員会と連携し検討していく旨の報告がなされた。

11) 認定制度委員会

12) 認定資格検討委員会

13) 研修機関認定委員会

大野理事より資料を元に、認定医新規申請者の書類審査が2019年3月15日(金)、認定医試験が2019年6月6日(木)に開催される予定である旨、認定医、専門医、指導医の1本化に伴い、規則・細則の抜本的な見直しを行っていく旨の報告がなされた。

14) 認定試験実施委員会

柏崎理事より資料を元に、2018年11月24日(土)に専門医試験が実施され、10名中9名が合格した旨、2019年6月6日(木)に認定医試験を実施する予定である旨の報告がなされた。

15) 専門医試験問題作成委員会

高橋理事より資料を元に、専門医試験の作問基準についての協議を行い、従来通り「より高度な臨床知識を問う専門医の試験として行う」ことが確認された旨、専門医問題の出題図書をホームページ記載の通り「老年歯科医学」と「老年医学系統講義テキスト」の2冊とする旨、専門医基準図書の見直しを行い、「口腔ケアガイドブック」、「高齢者歯科ガイドブック」の2冊を除外し、「口腔の緩和医療・緩和ケア」、「よくわかる高齢者歯科学」、「かかりつけ歯科医のための口腔機能低下症入門」の3冊が加えられた旨の報告がなされた。

16) 多職種連携委員会

岩佐理事より資料を元に、「要介護高齢者の口腔・栄養管理のガイドライン 2017(暫定版)」の最終案が作成されホームページに掲載された旨、「地域包括ケアシステムのフォローアップならびに情報共有化に向けた取り組み 会員アンケート結果」がホームページに掲載された旨、学会会場内で行った参加者アンケートについては今後学会誌で概要を報告予定である旨、「地域包括ケアシステム構築に向けた会員の取り組みの整理」について協議を行った旨、「多職種連携入門研修」を研修委員会と共催(併催)で企画してく予定である旨、「多職種連携のための俗語・略語辞典」については、掲載内容ならびに掲載方法

について引き続き学術用語委員会と協議しながら作業を進めていく旨の報告がなされた。

17) 支部組織・地域保健医療福祉検討委員会

平野理事より資料を元に、支部長不在支部が3支部(山形、佐賀、宮崎)に減少した旨、支部長会の開催および学術大会における委員会主催シンポジウムの企画運営を行っていく旨の報告がなされた。

18) 学会間連携委員会

佐藤理事長より資料を元に、「抗血栓療法患者の抜歯に関するガイドライン」WG(日本有病者歯科学会)の作業部会担当者が岩渕博史先生に交代となった旨、「歯科診療における静脈内鎮静法ガイドライン」WG(日本歯科麻酔学会)の作業部会担当者が深山治久先生に交代となった旨の報告がなされた。

19) 表彰委員会

米山理事より資料を元に、課題口演発表者の会員懇親会出席を促すため、第30回学術大会ホームページおよび老年歯科医学雑誌第33巻第2号の演題募集欄に案内を掲載した旨の報告がなされた。

20) 規程委員会

阪口理事より資料を元に、規程の改廃等の審議を規定委員会へ依頼する際は、「規程等改廃協議依頼」による依頼が必要となる旨、認定医、専門医、指導医の一本化に向けた規定の大規模改定に向けて認定制度委員会とともに会議を開催していく旨の報告がなされた。

21) 倫理委員会

竹島理事より資料を元に、ニューズレターへの「研究倫理の啓発」連載の中で、「臨床研究法」の追加に伴い、掲載回数が全9回から全10回に変更となった旨の報告がなされた。

22) 倫理審査委員会

山崎理事より資料を元に、本学会の倫理審査に申請する場合は、研究代表者、共同研究者、研究協力者など研究を実施するすべての研究者が、過去1年以内に倫理研修を受講していることを義務付ける旨、本学会で採用している倫理研修のeラーニングである「APRIN」の必須受講単元を15単元とする旨、本学会が審査する臨床研究に関するフローチャートをホームページに掲載する予定である旨、今後の倫理審査結果は「条件付き承認」とはせず、原則「承認」となるように期限内に書類を訂正させる旨の報告がなされた。また、倫理審査委員会が設置されている大学および病院は原則それぞれの施設で倫理審査を行い、他施設共同研究の場合は倫理審査委員会を有する主たる研究機関で倫理審査を行うようにとの旨の補足がなされ、了承された。

23) 利益相反委員会

植田理事より資料を元に、COIの記載方法について、今までは抄録・論文の末尾にCOIがある時だけ記載していたが、今後は利益相反がない場合は「COI 関係なし」と記し、ありの場合は「COI 関係あり：〇〇株式会社」と記すこととなった旨の報告がなされた。

7. 平成30年度老健事業報告

渡邊理事より資料を元に平成30年度老健事業の進捗状況の報告がなされた。

8. 平成30年度厚生労働省委託事業報告

水口理事より資料を元に平成30年度厚生労働省委託事業の進捗状況の報告がなされた。

9. 日本歯科医学会報告

櫻井理事より資料を元に報告があり、第24回日本歯科医学会学術大会登録部会の部会長を羽村副理事長が務める旨が報告された。

・在宅歯科医療に関する検討委員会 報告

報告なし。

10. 日本歯科医学会連合報告

報告なし。

11. 日本歯学系学会協議会報告

羽村副理事長より資料を元に、日本歯学系学会協議会からのアンケートに関する報告がなされた。また、2019年2月14日(木)15時より歯学協の講演会が行われる旨、2018年6月27日(水)の総会後に行われた「歯学歯科教育の今後の方向性」の講演のプロシーディングが近日中にホームページに掲載される旨の補足がなされた。

12. 歯学系学会社会保険委員会連合報告

佐藤理事長より、歯保連試案改訂版の作成を行っている旨の報告がなされた。

13. 日本老年学会報告

櫻井理事より、資料を元に IAGG Asia/Oceania Regional Congress 2023(横浜)、IAGG World Congress of Gerontology 2029(京都)招致開催に向けた活動の概要が報告された。

14. 日本口腔内科学会「口腔乾燥症の分類、治療指針合同作成委員会」報告

服部理事より資料を元に、口腔乾燥症の分類案が決定された旨、補足説明については文章化し、パブリックコメントを募集する予定である旨が報告された。

15. 厚労省歯科保健サービスの効果実証事業（後期高齢者）

平野理事より、平成26年度から実施されている後期高齢者歯科検診の効果検証およびマニュアル改正を行う予定である旨の報告がなされた。

16. その他

- ・ 櫻井理事より、デンタルダイヤモンド社より「かかりつけ歯科医のための口腔機能低下症入門」が本学会の監修で2018年12月に出版される旨が報告された。
- ・ 櫻井理事より、本会監修の口腔機能低下症に関する日本歯科衛生士会のeラーニングが完成し、2019年2月頃より実施される旨が報告された。
- ・ 上田理事より、日ごろの円滑な委員会活動に謝意が述べられ、18時を挟んだ会議に関しては原則として弁当を用意する旨、恒常的に18時を挟んで行うことがないように配慮をお願いしたい旨、やむを得ず食事代として支給する必要がある場合には都度財務と相談して決める旨、夕方や休日の会議開催は追加の経費がかかっている旨の補足があった。
- ・ 佐藤理事長より日本歯科医師会の8020運動30周年記念式典およびシンポジウムが12月13日(木)に開催され、佐藤理事長、那須副理事長、渡邊郁馬先生が出席する旨が報告された。
- ・ 森戸監事より、地域包括ケアシステムに対して歯科医師がより関わりを持てるように、支部組織を本学会の代議員選出母体とすることを検討して欲しいとの旨の提言がなされた。

VIII. 閉会の辞

那須副理事長より、活発な議論への御礼と閉会の辞があった。

以上